

ステップ	運 転 操 作	参 考 事 項	備 考
PC/P-9.5 PC/P-9.6 PC/P-9.7	PCV ベントを開始する場合は、AM 対策設備 S/P 水位計を確認し、S/P ベントライン位置下 1m 以内に水位がある場合 (S/P 水位計 4.3m 以上) は D/W 側、それ以下の場合は S/P 側のベントラインを使用し、小口径ベントライン (耐圧ベントライン、AC 系パージライン又は SGTS ライン) によりベントを行う。⑤ 上記の操作にもかかわらず S/P (D/W) 圧力が上昇する場合は、大口径ベントラインによりベントを行う。	注意事項# 19 PCV スプレイを作動させる場合は S/C 圧力を確認し、13.7kPa 以下となったら負圧になる前に PCV スプレイを停止する。 ⑤ PCV をベントする場合、SGTS 内圧が設計圧力を超えないようにするため、S/P 側出口バイパス弁を使用し、徐々にベントする。 また、ベント時には S/P 水が減圧沸騰する恐れがあるため、HPCI の水源が S/P になっている場合には事前に CST 側に切替えておくこと。この際、HPCI 系 S/P 側吸込隔離弁 [MO-2301-35, 36] の S/P 水位高による開信号をバイパス (リフト) する。	解説 B-19
	<具体的な手順は以下の通りとする。> 尚、PCV ベントは耐圧ベントラインを優先する。 耐圧ベントライン 1. SGTS の運転を停止し、2 台の COS を「OFF」にする。 2. SGTS トレイン出口弁 (BF-7, 9) を閉にする。 3. VENT ISOL SIGNAL BYP キースイッチを「TORUS」側にする。 4. TORUS 側ベント弁 [AO-1601-72] 「全開」にする。 5. PCV ベント弁 [MO-1601-210] を徐々に「開」する。 6. PCV 耐圧強化ラプチャーディスクが作動し S/P (D/W) 圧力が降下することを確認する。 7. 以上の操作で減圧できない場合、小弁側 (S/P 側 AO-1601-90, D/W 側 AO-1601-83) を「開」にする。	S/P 水位計 OS の場合 「DRY-WELL」 側 S/P 水位計 OS の場合 DRY-WELL 側ベント弁 [AO-1601-1] を「開」する。 ラプチャーディスク作動圧力 448kPa	